



プロジェクトギャラリー「clas」では、3月31日18:30より、伏木啓氏と高木理恵氏による映像インスタレーション／パフォーマンス“passage”を実施します。（名古屋大学大学院国際言語文化研究科・先端文化論講座主催）これは、ガブリエレ・ブランドシュテッター氏（ベルリン自由大学／舞踊学）の講演（日本独文学会東海支部・名古屋大学大学院国際言語文化研究科共催）に併せて企画されるものです。伏木啓氏は、2001年に武蔵野美術大学大学院修士課程を修了して以降、映像インスタレーションとパフォーマンスを組み合わせた作品を発表してきました。現在は、DAAD（ドイツ学術交流会）奨学生として、ドイツ・ヴァイマルにあるパウハウス大学大学院にて、パブリックスペースにおける映像インスタレーションの研究をされています。高木理恵氏は、ダンサーとして、伊藤キム氏、スー・ヒーリー氏、山下残氏など振付による舞台作品に出演する一方、2001年より、伏木啓氏とともに、映像インスタレーションとパフォーマンスを組み合わせた作品を制作してきました。お二人は、2006年以降、ドイツを中心に活動され、築200年以上に及ぶ市庁舎の一部を使用した"sight_07"（イエナ／ドイツ）、駅のエントランスを使用した"takt"（ヴァイマル／ドイツ）、戦前に建設された給水塔を使用した"aqueduct"（ベルリン／ドイツ）など、特異な機能、歴史性を伴った空間を利用した作品を発表し、高い評価を受けています。

今回の“passage”は、プロジェクトギャラリー「clas」前のデッキとその周辺を扱い、風景と、そのリアルタイム映像、さらにそこで行われるパフォーマンスの関係性によって展開される作品です。ご来場、ご高覧いただくよう、お待ちしております。

※屋外での実施となるため、なるべく暖かい格好でお越し下さい。
 （小雨程度であれば実施します）

入場無料 予約不要

スタッフ

音響：中上淳二

記録：村上将城

協力：山田珠実、井垣理史

会期: 3月31日【月】 18:30-19:30（パフォーマンス：18:30より 講演会：19:00より）

主催: 名古屋大学大学院 国際言語文化研究科・先端文化論講



アクセス

地下鉄名城線「名古屋大学」駅下車1番出口より西へ5分
 全学教育棟本館南入口横

お問い合わせ

tel 052-789-4725（名古屋大学教養教育院）

e-mail clas-info@vision.ss.is.nagoya-u.ac.jp

<http://www.vision.ss.is.nagoya-u.ac.jp/clas/>

